

博士論文要旨

中国における保険業の成長要因に関する研究

2007年7月

滋賀大学大学院経済学研究科

経済経営リスク専攻

氏名 陳 玉領

指導教員 酒井 泰弘 教授

指導教員 小川 功 教授

指導教員 福田 敏浩 教授

中国における保険業は新興産業として急成長しており、国民経済における地位がますます高まっているが、不安定な側面が多々存在する。中国保険産業の持続的成長を図るためには、その成長要因の解明が求められる。本研究の目的は、生命保険業を中心に中国における保険業の成長要因を実証的に検証することである。

検証に当たっては、まず先行研究のレビューを通して中国保険業の成長要因を検討した。その結果、中国保険業の成長要因には「独自の要因が存在する」という仮説を導出した。これを検証するために中国保険業の成長要因を分析したが、分析に当たっては、先行研究においても用いられたマクロ的な実証分析方法をベースにしながらも、時系列分析に加えて、先行研究では見られなかった横断面分析を行った。さらに、この方法のみではダイナミックに変動を続ける中国保険業の実情を十分に把握できない可能性があると考えて、二つの側面からも分析を行った。ひとつは需要サイドからの分析、すなわち市場経済への移行によるリスクの増大の計量的分析である。他は、先行研究では見られなかった供給サイドからの分析、すなわち市場経済への移行にともなう保険企業改革、保険市場の対外開放などの分析である。

その結果、中国保険業の高成長を支える重要な要因は、需要サイドからは経済成長要因と経済移行要因などであり、供給サイドからは国有保険企業の改革、保険市場の対外開放などが要因である。これらは他の国では見られない、あるいはあったとしてもそれほど顕著ではなく、したがって中国保険業の独自の要因といえる。また、それらは市場経済への移行というドラスティックな変化に起源するものであるという結論を得た。

出産制限による急速な人口高齢化についても、中国固有の社会・経済問題として保険の視点から考察を加えた。また、本研究の結果をもとに、中国保険業の持続的成長に向けた課題について考察した。

本論文の構成および主な内容と結果は以下のとおりである。

第一章「序論」では、本研究の研究目的と問題意識、先行研究の概観、研究フレームワークと課題設定、研究方法や主な結果などを述べている。

第二章「中国保険業の概況—その歴史、現状および課題」は本研究の研究対象である中国保険業の概況を考察するものである。具体的に、中国における保険業の発展の歴史、現状および課題を概観している。

第三章「保険需要の理論と規定要因—先行研究のレビュー—」では、保険の需要要因に関する二つの流れ、すなわち理論モデル分析の流れと実証分析の流れに従って、保険の需要要因を一般的に検討している。その上で、中国保険業の成長要因に関する先行研究をレビューし、欧米および日本の研究と比較しながら、その問題点を指摘し、研究のフレームワークと研究課題を明確にしている。

第四章「中国保険業の需要要因—時系列分析と横断面分析による検証—」では、先行研究の成果と問題点を踏まえて、変数やデータを整理・検定し、それに基づいてより多方面から中国における保険業の成長要因を検証している。検証に当たっては、時系列分析と横断面分析を行っている。検証の結果は以下のような結論に至っている。

中国保険業の最も重要な成長要因は経済の成長である。CPI の安定とエンゲル係数の低下など経済環境の安定も保険業の高成長を支える要因であり、さらに人口高齢化の進展や教育レベルの向上も保険業の成長に貢献している。

第五章「経済移行のリスクと保険需要」は「中国独自の保険需要要因がある」という「仮説」に対する検証を行うものである。本章では、市場経済への移行と保険業の成長の関係に注目し、計量分析と実態考察によって市場経済への移行によるリスクの増大および保険需要への影響を検証し、上述した「仮説」を証明している。

改革開放以来、中国保険業は世界に前例のないスピードで成長してきた。これをもたらした重要な要因のひとつは市場経済への移行によるリスクの増大という要因であり、これは、他国には見られない中国保険業に独自の成長要因といえる。市場経済への移行によるリスクの増大は、計量分析によって確認され、実態の考察でも明らかになっている。

第六章「中国における人口高齢化と保険需要」では、日中比較を主な研究方法と

して、中国の人口高齢化問題と保険業の成長について分析している。分析の結果は、以下のように要約できる。

人口の高齢化は中国保険業の高成長に貢献しており、今後の持続的成長を支える要因でもある。ただし、長期的に見れば、人口の高齢化は保険業の発展にとってプラスだけではなく、マイナス方向にも作用し得る。急速に進む高齢化は中国にとって深刻な社会問題であり、その動態を見極めて、迅速かつ適確に対応することによって保険業の一層の発展が期待される。

第七章「保険企業システムの発展と保険業の成長—供給サイドからの考察—」では、市場経済への移行を背景に、中国における保険企業システムの発展および保険商品や販売チャンネルの変革を考察し、供給サイドの視点から保険業の成長要因を分析している。結論は以下のように要約できる。

供給サイドから見れば、中国の保険企業システムの発展は保険業自身の成長の結果であるが、やはり市場経済への移行を背景に進められた国有企業改革に負うところも多い。国有保険企業の改革、外資保険企業の受け入れなどによって、消費者ニーズに合う保険商品と販売チャンネルがつぎつぎと開発され、保険業の効率の向上と保険業規模の拡大に貢献している。

第八章「中国保険業の持続的成長に向けた課題」では、中国保険業の成長要因に関する研究の結果をもとに、今後の持続的成長に向けた課題を分析している。

中国保険業の成長に影響を及ぼす諸成長要因の中では、経済成長要因と市場経済への移行の要因が今後の中国保険業の成長を左右する主なリスク要因である。中国保険業の持続的成長に向けた具体的な課題については、国有保険会社のコーポレート・ガバナンスの課題、リスクマネジメントと保険監督の課題、農業と農村保険の課題などがあるが、いずれも喫緊な課題である。

第九章「結論」は本研究を総括するものである。まず本研究の概要をまとめ、各サブ課題の分析の結果を検討した上で本研究の結論を与えている。さらに、本研究の成果と残された課題を述べている。